実践報告

ジオツアーコースの作成

Geo-tour course making

下仁田ジオパークの会*
Shimonita Geopark Association

はじめに

2019年春，下仁田町商工観光課及び一般社団法人下仁田町観光協会から下仁田ジオパークの会へ協力要請がありました．その内容は，2020年4月1日から6月30日まで行われる群馬ディスティネーションキャンペーン*でのジオツアーの実施でした．

下仁田ジオパークの会としては，下仁田町を訪れる観光客に日本ジオパーク・下仁田ジオパークの魅力を紹介するとともに，ガイドツアーを通じジオパークの楽しさを体感していただけるチャンスと捉えました．最近では，NHK「ブラタモリ」などで地球や自然を見て歩く番組が人気となり，同時にジオパークへの関心が高まりつつあります．兼ねてから会ではジオツアーコースを増やしていきたいとの意向がありましたので，良い機会を得ることが出来ました．さらに，観光関係の方々に下仁田ジオパークをプレゼンする機会にもなるので，群馬 DC 向けのジオツアーの作成に取り組むことにしました．

＊ディスティネーションキャンペーン：JR グループ6社・北海道・東日本・東海・西日本・四国・九州と自治体・観光関係団体が一体となって取り組む大型観光キャンペーン：通称 DC

ジオツアー作成の経過

「日本列島の誕生をひもとく根なし山」をテーマとする下仁田ジオパークは，地球の不思議が体感できる地質の宝庫です．見どころ満載で，下仁田町全体がジオパークとなっています．早速，役員会を中心に話し合いを進めました．地形や地質の魅力はもちろん，実施時季ならではの自然を満喫していただくことも加味して3コースを計画いたしました（第1図）．

第1図　ジオツアーコース範囲

まずは，各コースを役員数名で分担して行程やガイド内容を考え，現地視察研修のスケジュールを決めました．担当のコースのガイド資料が出来上がる

2020年12月17日受付．2021年2月13日受理．
＊〒370-2611　群馬県甘楽郡下仁田町青倉158-1（下仁田町自然史館内）　責任者：加庭紀夫
役員：堀口和利*，神戸百合子，加庭紀夫，黒澤雅史，森川恵美子*，大河原順次郎*，高橋真理子○，高橋敏博（会員数61名）
*執筆者　○執筆責任者

と役員全員で資料検討会を行いコースやガイド内容を決めました．その後，現地視察研修を行いました．さらに，自然学校の方々にご指導いただきながら知識を高め，難しい内容を観光客のみなさんにいかにわかりやすく楽しく興味を持っていただけるようにガイドをするか，試行錯誤いたしました．

1つ目のコースは，2020年4月18日（土）AM9：00～12：00実施予定でした．スタート場所は中之嶽神社駐車場です．ツアーの名称は，「満開の桜と日本三大奇勝『妙義山』を巡る大人のジオツアー」です．このコースでは，日本一の大黒様があるパワースポット・中之嶽神社の参拝と桜を愛でながら日本三大奇勝「妙義山」の奇岩の絶景を訪ねます．資料を片手に実際のコースを下見しながら研修を重ねました．

2つ目のコースは，2020年5月16日（土）AM10：00～12：00実施予定でした．スタート場所は下仁田駅です．ツアーの名称は，「なんと17種類の石が！川原の石の観察と下仁田まちなかジオツアー」です．このコースは，既にまちなかツアーとして定着しているコースです．青岩公園は「川原の石の学習」の場として毎年多くの小中高生が訪れています．5月は川の水に触れることが気持ちよい季節となります．子どもたちに川原や石を楽しんでもらえるように，クイズや火打石を使った火おこし体験なども用意しました．下仁田駅から根なし山，青岩公園，コンニャク水車，諏訪神社の彫刻，下仁田層，昭和レトロな街並みなどを案内します．

3つ目のコースは，2020年6月20日（土）AM10：00～12：00実施予定で，スタート場所は馬山多目的グランドでした．ツアーの名称は，「関東一を目指すアジサイ園と鏑川がつくった河岸段丘」です．このコースは，大地の隆起によってできた河岸段丘を歩きます．段丘の平坦面には特産のネギやコンニャクの畑が広がっています．また，国道254号線の南にある高台は，旧石器時代から縄文時代の人々が暮らした場所でもあり，たくさんの遺跡が見つかっています．コースの最後は下仁田インター出入口にある下仁田あじさい園です．ここは，2019年のあじさい祭りに1万人が来場しました．ツアー終了後に，あじさい園を自由に楽しんでいただきます．このコースは今回新たに考案したコースです．今後は道の駅を発着するコースとして確立するため，ジオパークの会が行っている「ミニジオ講座」や「ウオーキングdeジオ」などでも研修を重ねています．

以下に，各コースについての詳細を説明いたします．

満開の桜と日本三大奇勝『妙義山』を巡る大人のジオツアー

コース（第2図）

中之嶽神社駐車場（🚻トイレ）⇒登山口⇒第1石門⇒第2石門⇒第4石門広場⇒見晴らし台⇒中之嶽神社（🚻）

第2図　妙義コース

ジオサイトの魅力

1　中之嶽神社駐車場（第3図）

妙義山（金洞山）が間近に見え日本三大奇勝の名前にふさわしい風景である．非常に見晴らしが良く，荒船山を始め周囲の山々も見渡せる．案内板などを見ていただくと，妙義山がとても古い火山であることや現在の形になるまでの過程を学ぶことができる．鳥居を過ぎた辺りから前方に，三角形の岩・筆頭岩が見える．ここは，近代登山発祥の地である．

2　登山口・カニの小手調べ

カニの小手調べは鎖場．その名の通り，鎖場であっても非常に短く高さもあまり無いので余裕を持って楽しめる．

第3図　妙義ガイドツアー（中之嶽神社駐車場）

3　第一石門

高さ 30 m，幅 15 m の一番大きな石門だが，石門の厚さは 2 m しかない．石門をくぐった所に石碑がある．この石碑は，石門群一体の土地を所有していた「柴垣はるさん」の肖像で，柴垣さんが群馬県に寄付してくれたことで妙義山は国定公園となり，多くの人々が石門巡りをできるようになった．ここから少し戻ると鎖場を迂回して第四石門へと向かうことができる．

4　第二石門

ここは，石門巡りの中で「カニのよこばい」「たてばり」「つるべさがり」と名付けられた鎖場が連続するスリルたっぷりの場所である．鎖を頼りにして横へ縦へと歩くが，すれ違える場所がほとんどないので，逆走してくる登山者がいた場合は，難易度がたいへん跳ね上がる．

5　第四石門

第四石門越しに「ゆるぎ岩」「大砲岩」，第5石門などが見られる広場がある．また，少し移動すれば「日暮しの景」と呼ばれる絶景ポイントもある．なお，この場所は2020年4月に大きな落石があったので注意が必要である．

6　見晴台

第4石門でも見えた「ゆるぎ岩」や「大砲岩」を別の角度で見ることができる．

7　中之嶽神社

拝殿は明治の大火で焼失した後に再建された．背後にはご神体である大きな岩が立っている．この岩は旭岳といい，ご神体であるが登ることができる．昔，高崎連隊の等々力大尉が登った際に，岩の上で逆立ちをしたという逸話から轟岩とも呼ばれている．

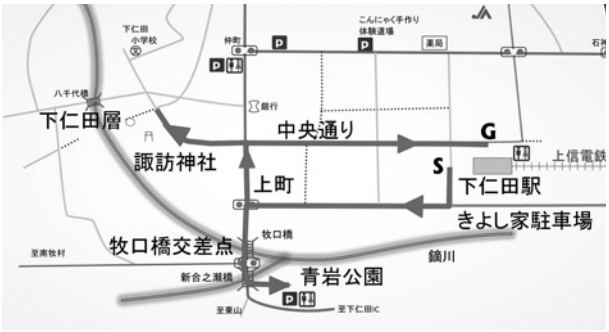
轟岩の脇には，戦国期に金洞山で修行し，父親の仇を討った長清道士の碑がある．この碑は，江戸時代の下仁田の学者，高橋道斎が当時の中之嶽高寺の和尚に依頼されて建立したものである．

長い階段の下には，中之嶽大国神社と大黒様がある．この大黒様は日本一大きな大黒様で，珍しく右手には木槌ではなく剣を持ち，邪を祓うと言われている．また，この神社では大国様の縁日に「甲子祭（きのえねさい）」を行っている．高校野球日本一を決めるのが，甲子の年に完成した甲子園球場であることから，野球にも御利益があると言われている．

なんと17種類の石が！川原の石の観察と下仁田まちなかジオツアー

コース（第4図）

下仁田駅（🚻）⇒きよしや駐車場⇒牧口橋交差点⇒青岩公園（🚻）⇒上町⇒諏訪神社⇒下仁田層⇒中央通り⇒下仁田駅（🚻）



第4図　まちなかコース

ジオサイトの魅力

1　下仁田駅

上信電鉄は日本で2番目に開業した私鉄である．なぜ下仁田町にそのように早く鉄道が敷かれたのか問いかけることにより，鉄鉱石・石灰石・砥石などの地下資源が豊富で，それらを利用して繁栄してき

たことに気づいてもらう．

2　きよしや駐車場（第5図）

クリッペの山々と鏑川が織りなす美しい風景を楽しんでもらう．下仁田ジオパークを代表する地形である「クリッペ（根なし山）」は，青岩の上にクリッペが乗っている二段構造をしていて「日本の地質百選」に選ばれている．御岳山は，ここから眺めると二段構造が特によくわかる．

クリッペは世界ではヒマラヤやアルプスに現れるとても珍しい地形で，スイスのマッターホルンもクリッペである．御岳山や大崩山がマッターホルンと同じクリッペと考えると，その貴重さが感じられる．

第5図　まちなかガイドツアー（きよしや駐車場）

3　牧口橋交差点

看板を使ってクリッペのでき方を解説する．青岩の上に，跡倉層が別の場所から移動してきて乗り，その後河川で削られて今の根無し山になった．大崩山は二段重ねに見えないが，山の裏側にすべり面が露出していて，この根無し山の底を見ることができる．日本では唯一無二のジオサイトである．

4　青岩公園

青岩公園は町民憩いの場として，また，観光地として人々に親しまれてきた．昔はレストランや卓球場，ダンスホールなどが建ち並び，たいへんにぎわっていた場所で下仁田の歴史を伝えることができる．

青岩を観察してもらい，気づいたことから青岩のでき方を解説する．海底火山が爆発してマグマや火山灰が固まってできた．初めは黒色だったが地下深くで圧力を受けて緑色に変化したため緑色岩と呼ばれる．下仁田の地下の半分は青岩でできている．青岩は，中央構造線に沿って現れる岩石帯である．下仁田でも，中央構造線の断層が見られる．

南牧川と鏑川の河原の観察によって，大きなチャートの岩は南牧川が運んできたことを発見してもらう．南牧川の上流は古い時代に海に積もった地層，鏑川の上流は新しい時代の火山でできた地層である．二つの川が運んでくる石は，古い時代のものから新しい時代のものまで，海のものから陸の火山のものまで有り，全部で17種類にもなる．石の学習に適した場所である．

川原に下りて好きな石をいくつか拾ってもらい仲間分けしてみる．チャートで火起こしをしたり，石灰岩や流紋岩の用途を解説したりする．

5　上町

看板を使ってコンニャク製粉について解説する．青岩公園より上流の川は適度に傾斜して安定的な水量が確保できたので，最盛期には 100 m おきにコンニャクを製粉する水車があった．緑の屋根の建物は，コンニャク製粉工場の跡．鉄製の縦軸のタービン水車で112本の杵を動かして製粉を行った．川の中の堰堤は工場に水を引き込むためのものである．下仁田町の川が水車を回すのにとても適していたので，コンニャクの町として繁栄した．

6　諏訪神社

400年以上の歴史を持つ神社である．戦国時代，武田信玄の進攻にともない諏訪神社と改名した．社殿は1846年に完成したもの．特徴は，豪華な彫刻の数々と一間社流れ作りと呼ばれる建築様式である．江戸時代末期に，下仁田町が繁栄していたことを今に伝えている．

7　下仁田層

約2000万年前に海の中に堆積した地層で，貝の化石が30種類以上見つかっている．イガイの密集化石を見たあと，下仁田層の露岩の上を歩いて化石を探してもらう．

8　中央通り

当時，歓楽街として賑わった通りである．農業や鉱業で働いた男性や製糸場で働いていた女性が休日に集まってきた．化粧品屋が多いのは，蛹の臭いを隠すために香水や化粧品の需要があったからだ．町並には，昭和中期の風情が残っている．

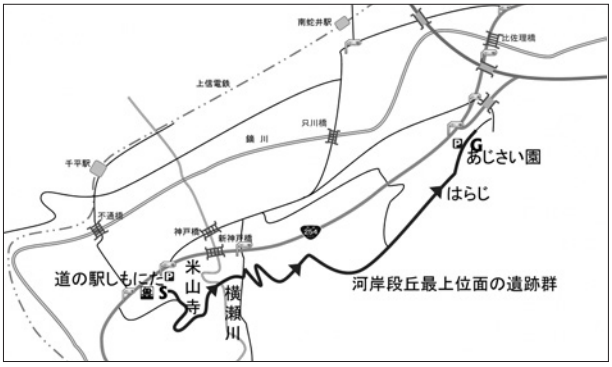
9　下仁田駅

終わりの挨拶．荒船山や妙義山など他のジオサイトを紹介する．

日本一を目指す下仁田あじさい園と河岸段丘最上位面を歩く！

コース（第6図）

道の駅しもにた（🚻）⇒米山寺（最上位段丘面：馬山東城，馬山西城）⇒横瀬川（製糸場動力のための水利用）⇒富士塚（縄文時代の住居跡）⇒はらじ（ネギとこんにゃく下仁田名産）⇒あじさい園（段丘崖）



第6図　まやまコース

ジオサイトの魅力

1　米山寺（第7図）

河岸段丘だけで見ると，片品川が造った沼田地方の河岸段丘や荒川がつくった秩父地方の河岸段丘などが有名である．そんな中，下仁田町馬山の河岸段丘には，一味違った特徴がある．一つには東西方向に中央構造線が走っていることである．もう一つは南側の山々の隆起が続いていることにある．その結果，ほぼ東西方向に流れる鏑川は右岸側に高い山地，左岸側に平地で非対称な地形となっている．そのため，鏑川に流れ込む小河川は，南側から北に向かって流れ鏑川に合流する．南に迫る山の代表が，稲含山と黒内山である．両山とも伝説を持ち，稲含山は上州一ノ宮「貫前神社」と深いかかわりを持ち，農耕の神が宿る山と言われ，黒内山は源頼朝の家臣，梶原景季（かじわらかげすえ）の名馬「磨墨（するすみ）」の伝説が残る山でもある．

第7図　まやまガイドツアー（米山寺）

2　横瀬川

横瀬川は，隆起を続ける関東山地の黒内山に源があることから南から北に向かって流れ鏑川に合流する．下仁田町を東西に貫く中央構造線を横断することから緑色岩や蒔田不動尊の滝など，見どころの多い小河川である．鏑川に合流するところでは，二つの河川がつくった複合の河岸段丘となり見ごたえがある．養蚕製糸業が盛んであった地域でもあり，明治から昭和のはじめまで，小河川の水を動力とした製糸業やコンニャク製粉にもこの川の水が使われた．

3　河岸段丘最上位面の遺跡（米山寺，富士塚，下鎌田遺跡）

下仁田町の東に位置し，関東平野の始まる場所でもある．昭和の終わりから始まった上信越自動車道や農免農道建設の工事に関連し，埋蔵文化財調査が行われた．その結果，この地域の河岸段丘最上位面から多くの縄文集落跡や遺物が出土しており，重要なものもあることから下仁田町の重要文化財に指定されている出土品も多くある．その中には国内に無い石からつくられた玦状耳飾や関東平野に広く流通した磨製石斧なども含まれる．縄文時代から，人々

の交流においても重要な場所であったことがうかがえる．

また，戦国時代には段丘崖を要害とし，幾つかの山城が築城されている．三方は河川により浸食された崖があり，まるで岬，半島のようになっている．残った一方のみに空堀を設置することで城を守ることができた．

これらの調査結果を踏まえ，最上位段丘を東西に走る農免農道は「遺跡街道」としてジオサイトになっている．

4　はらじ

下仁田 IC 入り口につながる国道254号南側の高台の火山灰を含む関東ローム層に包まれた畑を，地元の方は「はらじ」と呼んでいる．水はけが良いことからイモ類，コンニャクなどの栽培に適していた．現在は上毛カルタで「ねぎとこんにゃく下仁田名産」と詠われている下仁田町を象徴する優良農地が多く残っておりコンニャクや下仁田ネギの栽培が盛んな地である．高台であることから見晴らしは素晴らしく，特に東と北側が開けており上毛三山のうち「赤城山」「榛名山」を望むことができ，段丘上を吹き抜ける風を感じられる魅力的な場所である．

5　あじさい園

下仁田町の入り口，下仁田インターチェンジ出口近くにあり，河岸段丘崖に地元の方々の力により整備されたあじさい園．関東一のあじさい園を目指し，整備が続いている．

おわりに

3つのジオツアーの計画を立てましたが，2020年はコロナ禍で DC キャンペーンは中止となってしまいました．2021年はアフター DC 特別ツアーとして同時期に実施できることとなりました．2021年が本番となりますので，会員一同更なる研修を積み重ねております．

今後も，自然学校の方々にご指導をいただきながら魅力あふれるコースを考案して，下仁田ジオパークを訪れる方々に楽しくガイド出来たらと思っております．